

段階Ⅱ：設立から地域コミュニティプラン策定まで

段階Ⅱ：設立から地域コミュニティプラン策定まで

区分	項目	検証	評価
1 プラン策定のための現状把握	(1) モデル地域への働きかけ 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を説明し、理解が得られたか。		
	(2) モデル地域への支援、助言		
	① 住民アンケートの進め方など、地域課題の抽出、地域資源の把握の仕方を説明し、理解が得られたか。		
	② モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。		
2 プラン内容検討・策定	(1) モデル地域への支援、助言		
	① 基本方針や主な活動、事業のまとめ方など、具体的な進め方を説明し、理解が得られたか。		
	② モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。		
	(2) 地域の主体性 プランは、地域住民の意見を把握した上で、策定委員会や専門部会で作業を進め、策定されたか。		
3 運営・活動	(1) モデル地域への支援、助言		
	① 市の補助制度は、地域コミュニティ協議会の活動等の支援につながったか。		
	② 事務局職員に対する研修を行ったか。		
	③ モデル地域からの相談に対し、適宜適切に助言などが行えたか。		
4 推進体制	(1) 情報共有、調整等 モデル事業を推進する上で、関係課との情報共有や関係課間の調整を行うことができたか。		

区分	項目	検証	評価
1 プラン策定のための現状把握	(1) プラン策定委員会の設置 地域コミュニティプランの目的や内容、策定手順を理解し、プラン策定委員会を設置できたか。		
	(2) 地域の主体性 地域住民の意見や地域課題の抽出、地域資源の把握ができたか。		
	(3) 行政の支援体制 プラン策定のための現状把握にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。		
2 プラン内容検討・策定	(1) 地域の主体性		
	① プランは、策定委員会や専門部会において、地域住民の意見も踏まえる中で作業を進め、策定することができたか。		
	② 5年先を見据え、地域の実情に合った、実行可能なプランが策定できたか。		
	(2) 行政の支援体制 プラン内容の検討、策定にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。		
3 運営・活動	(1) 地域の主体性		
	① 協議会設立により、構成団体間の情報共有や役割等を分担し、負担の軽減などを図ることができたか。		
	② 事務局は定期的に開設できたか。		
	(2) 行政の支援体制		
	① 市の補助制度の内容や金額は、地域コミュニティ協議会の活動等において適切であったか。		
	② 事務局職員に対する研修の内容は適切であったか。		
	③ 協議会の運営、活動にあたり、市の助言、相談対応等は適切であったか。		

a : よくできた、非常に適切であった b : 概ねできた、概ね適切であった
c : ややできなかった、やや不適切であった d : できなかった、非常に不適切であった

a : よくできた、非常に適切であった b : 概ねできた、概ね適切であった
c : ややできなかった、やや不適切であった d : できなかった、非常に不適切であった